



泉州地域の貧血から造血幹細胞移植に至るまで
広範囲の診療を担います

血液疾患センター

府中病院のさまざまな情報をお届けします！

府中病院
ホーム
ページ



登録医の先生方用





血液疾患センター 部長

麥谷 安津子 (むぎたに あつこ)

■ 資格

日本内科学会認定内科医・指導医

日本血液学会血液専門医・指導医・近畿地方会評議員

大阪市立大学医学部臨床教授

ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター

難病指定医

医学博士

府中病院 血液疾患センターの麥谷 安津子 (むぎたに あつこ) と申します。私は大阪市立大学医学部を卒業し血液内科の前身である中央臨床検査部に入局し、血液内科グループで研修医、大学院生、研究医として研鑽を積みました。同院で造血幹細胞移植の立ち上げ時期に所属し、黎明期の診療に携わったことを懐かしく思います。そして20年前より当院に赴任し血液診療にあたっております。

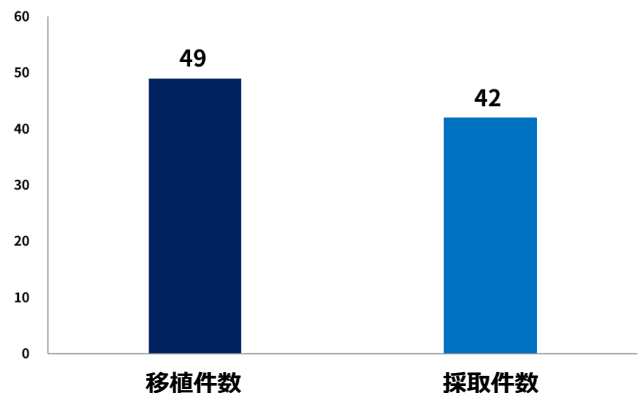
さて当院では骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植など造血幹細胞移植を行っております。一方、日常診療で見られる貧血、血小板減少、白血球増多、白血球減少などの診断、治療も積極的に行っています。

「鉄剤を投与したけれど貧血が改善しない」「ビタミンB12を投与したけれど貧血が改善しない」など、お困りの症例はございませんでしょうか。これらの疾患は骨髄検査を施行すると骨髄異形成症候群など造血器悪性疾患であることも多いです。お困りの症例がございましたら遠慮なくご紹介ください。

1. 同種造血幹細胞移植の実施

当科は泉州地域において同種造血幹細胞移植を積極的に行っている病院です。同種造血幹細胞移植といえば大学病院が行うイメージが強いかもしれませんが、当院では大阪市立大学医学部附属病院で研鑽を積んだ医師の赴任後移植医療を始めました。2018年度から2022年度5年間の症例数は図1の通りです。現在も移植医療が必要な患者さんに対して積極的に造血幹細胞移植を行っています。

(図1) 造血幹細胞移植件数と造血幹細胞採取件数



2. 当科の設備

造血幹細胞移植に対応できるクリーンルームを13床有し、一般病床を18床有しております。当科の病床数を超える患者さんの入院時には他病棟のベッドを借りて診療しております。（2024年12月には泉大津市立病院と再編統合し、泉大津急性期メディカルセンターとして大きく生まれ変わります。）

遠心型血液分離装置を透析室に有し、臨床工学技士の管理の下、造血幹細胞採取（末梢血）のためのアフエレーシスを行い、CD34細胞数測定のためのフローサイトメトリーを臨床検査室に装備し測定を行っております。

放射線治療科では移植症例の全身放射線照射も施行しています。

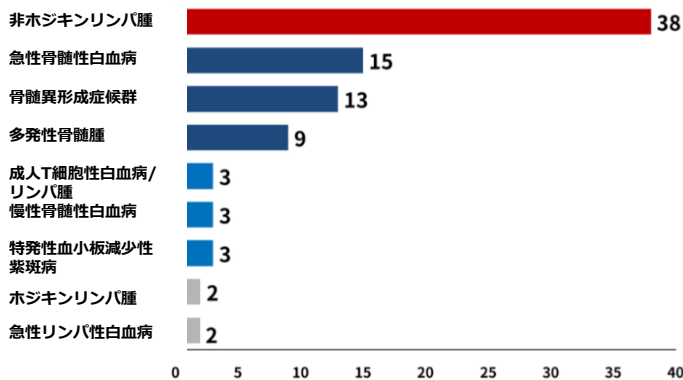
3. 日常の診療 (移植医療以外について)

地域の開業医の先生方から貧血、血小板減少、白血球減少、白血球増多、リンパ節腫大などと診断されてご紹介いただいた患者さんは、外来及び入院で血液検査、骨髄検査、リンパ節生検などにて診断を進めていきます。

急性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器腫瘍の診断となると、化学療法を入院にて導入し、外来で化学療法の可能な症例は、外来化学療法室で継続治療を行っております。また再生不良性貧血や特発性血小板減少性紫斑病の診断になった場合も入院のうえ治療開始し外来治療に移行していきます。

2022年度の新規入院患者数を図2に示します。

(図2) 新規入院患者数 (2022年度)



その日の内に骨髄検査を実施、 土曜日対応も可能

繰り返しになりますが貧血や血小板減少、白血球減少の患者さんは精査をすると骨髄異形成症候群であったり、時には急性白血病であったりします。紹介いただければ、骨髄検査が必要な場合は外来でその日の内に骨髄検査を行い、早期に診断し治療開始出来るように努めております。

貧血や血小板減少などでお困りの患者さんがおられましたら、いつでもご紹介いただければ幸いです。外来診療は月曜から金曜まで対応しております。土曜日にも常に血液内科スタッフがおりますので、急を要する患者さんについては対応可能です。

4. 大阪公立大学医学部附属病院 血液内科との連携

大阪公立大学医学部附属病院で診断された患者さんの治療を当院で請け負うことが多く、また同院の移植レシピエントの全身放射線照射のための短期入院を当院で請け負うこともあります。

大阪公立大学附属病院との連携を密にし、それぞれのニーズに合わせて患者さんの紹介、逆紹介を行い、継続的な診療を行うことで切れ目ない治療、経過観察を行っていくことが可能です。

5. チーム医療の充実

看護師（緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師を含む）のみならず、検査技師（輸血認定検査技師）、薬剤師（がん薬物療法薬剤師含む）、リハビリ、栄養士、ケースワーカー、スピリチュアルケアカウンセラー、精神科医、臨床心理士が介入し、連携によりチーム医療を推進しています。診断、治療に注力していた昔ながらの血液内科ではなく、多くの専門分野との連携により、血液診療の患者さんの入院生活の質の向上を目指しております。具体例を記載します。

副作用による食欲低下への対応

入院での化学療法の副作用が強く口内炎や食欲低下に苦しむ患者さんがおられた場合、管理栄養士の介入により、少しでも経口で栄養が取れるような工夫を行い食事がとれるようになることがあります。そんな時は、頼もしいco-workerの存在を実感しました。

患者さんの気持ちに寄り添う

医師には本心を吐露できない患者さんの辛い気持ちには、看護師が夜間勤務中に時間を割いて寄り添い、その内容がカルテに記載されているのを見ると、看護師のパワーを感じ、頭の下がる思いをすることもよくあります。

また、スピリチュアルケアカウンセラー、臨床心理士、精神科医の介入により患者さんの抱える辛い気持ちが軽減されることは日常診療の中で多々あります。

多職種合同の移植カンファレンス



歩いて退院できるように

リハビリについては、抗がん剤治療のため入院している患者さんにはADLを落とさない為、がんリハを可能な限り行っております。入院患者さんによっては、はじめは「しんどいからいや」とおっしゃる方もいますが、毎日介入していると、「今日はリハビリの先生まだなんだけど、いつ来てくれるかなあ」と心待ちにされる方も多いです。「入院中にジムに通っているみたい」と言って喜ばれる患者さんもおられます。歩いて入院してきたのに退院時には寝たきりになってしまうことのないようにリハビリの介入は不可欠です。

さいごに

私たちはこの環境の中で日々診療ができることに感謝し、今後もさらに強いスクラムを組んで血液診療に邁進して行きたいと考えています。

先生方の日常の診療の中で血球減少、血球増加、リンパ節の腫れなどでお困りの方がおられましたら、いつでも当科にご紹介いただきたく存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

血液疾患センター

	月	火	水	木	金	土
午前	麥谷 原田	白神 喜澤	原田 出田 ~10:30 芝野 10:30~	麥谷 森口	白神 喜澤	-
午後	-	-	麥谷	岸田	-	-

•予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

•診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませお願いいたします。



府中病院の記事をご覧ください
m3.comへ移行します
※ 登録が必要です



ご予約の申し込み・お問い合わせは

地域医療連携室までご連絡ください

〔TEL〕 0725-40-2147

〔FAX〕 0725-40-2148

【予約受付時間】

●月曜～金曜：午前9：00～午後8：00まで ●土曜：午前9：00～午後5：00まで

※上記時間外及び日曜・祝日は業務を行っておりません。

※予約申込書は〈府中病院ホームページ〉よりダウンロードしていただけます。

New

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2023.12月

第20回府中臨床懇話会

日時：2023年 12月 16日（土） 15：00～17：00

場所：府中病院 セミナーホール

※ 会場開催・事前申込制



2023.12月

骨粗鬆症治療 Up to Date（整形外科）

日時：2023年 12月 23日（土） 15：30～17：20

場所：府中病院 アイセンター（3階会議室）

※ ハイブリッド開催・事前申込制

お申し込みは**地域医療連携室** **0725-40-2147** までご連絡ください

無料送迎バスのご案内

※泉大津駅発着場は**西口（海側）ロータリー**です

時間	府中病院 発		泉大津駅 発	
8	—			40
9	10	50	20	
10	30		00	40
11	10	50	20	
12	30		00	40
13	10	50	20	
14	30		00	40
15	10	50	20	
16	—		00	

※和泉中央駅発着場は**一般乗降場**です。

時間	府中病院 発	和泉中央駅 発
8	—	30
9	5	30
10	5	30
11	5	30
12	5	30
13	5	30
14	5	30
15	5	30
16	5	30

※日祝日の運行はいたしておりません。

※交通事情により遅れることがございますのでご了承ください。

※府中病院発着場は西館正面玄関前です



早期アルツハイマー型認知症診断支援システム

MRI 画像を使って脳の萎縮度をみる検査です！

もの忘れが気になる方で**54 歳～ 86 歳**の方が対象になります。

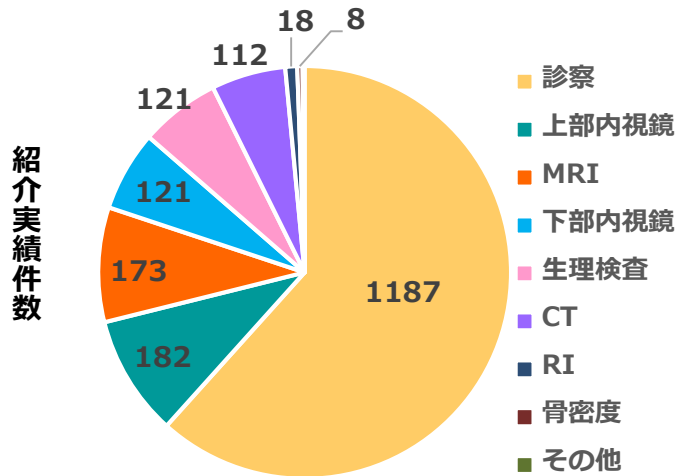
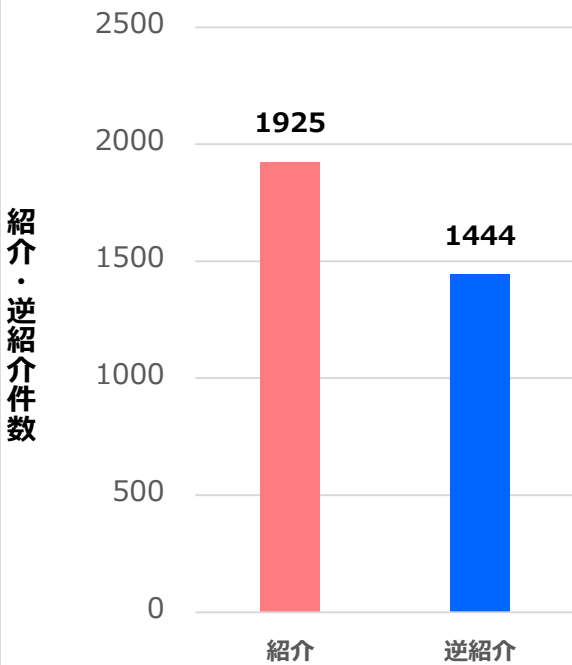
VSRAD 検査をご希望される場合は、画像検査申込書の備考欄に

「VSRAD 希望」とご記入いただくか、もしくはお電話での**検査予約時にお申し出ください。**



ニコまる

紹介実績 〈2023年11月〉



ねっとわーく Vol.242

発行責任者：院長 竹内 一浩
 編集責任者：患者支援・地域連携部 家口 尚
 編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子
 〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号
 TEL：0725-40-2147 FAX：0725-40-2148
 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147
 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現
 地域と職員と共に栄えるチーム
 Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
 チャレンジします。
 3つのベストにチャレンジします。